



あさみなみ



管理されていない柿の木を伐採する地域の皆さん

みんなで野生鳥獣被害を防ごう!

イノシシ、シカ、サルなどの野生鳥獣は、農作物に被害を与えるだけではなく、近年は住宅地などへの出没が増えています。

正しい知識を身に付け、地域で協力し、被害を防止しましょう。
園農林課(☎831-4950、☎877-2299)



整備する 野生鳥獣が「過ごしにくい」環境づくりを!

野生鳥獣への対策のポイントは、野生鳥獣が過ごしにくい環境を作り、キープすることです。
以下をチェックして、家の周りや地域の環境を確認してみましょう。

安全な場所(隠れ場所)がある環境になっていませんか?

- 見通しが悪く、人の手が入っていない雑木林や竹林がある
- 田畑の管理が行われず、雑草が生えている
- 草刈りをしなくなった空き地などがある



楽に餌が食べられる(餌場がある)環境になっていませんか?

- 草刈りの頻度が少なく、秋～春にかけても青草が生えている
- 管理されていない果樹(柿、栗、ミカンなど)がある
- 米の収穫後、ヒコバエ(切り株から生えてくる2番穂)や、収穫時に落ちた稲や麦の穂が田んぼに残っている
- 野菜くずや、間引いた野菜などを放置している
- ごみの収集日の前日にごみを出している
- 家の外にペットの餌を放置している



一つでもチェックがいたら、野生鳥獣にとって「過ごしやすい」環境になっているかもしれません!

防ぐ 野生鳥獣を知り、侵入・被害対策を!

野生鳥獣が「過ごしにくい」環境づくりをしても、それでも野生鳥獣が出てきてしまうこともあります。
野生鳥獣の習性や行動パターンを知り、現地確認をしたうえで、必要な対策を行きましょう。

野生鳥獣の習性を知る

- 隠れられない場所を嫌う
- イノシシは夜間に、シカは朝と夕方、サルは昼間に活発になる
- 餌を求めて畑や街中に出没する



◀市街地に出没したシカ



なぜ人里や田畑に来るのか考える

現地確認を行う

- どこから野生鳥獣が来ているのか
- どこが「隠れ場所」や「餌場」になっているか



◀被害を受けた農作物



現地確認の結果は地域で共有を

対策を検討する

- 侵入防止柵(電気柵、ワイヤーメッシュ柵、ネット柵、トタン柵など)の設置
- 設置済みの侵入防止柵の管理状況(破損、雑草、設置漏れ)の確認、修理の必要性や管理方法の見直し



▲野生鳥獣の侵入を防ぐために設置したネット柵

被害対策に補助金が出ます 事前にご相談を

イノシシやシカなど、野生鳥獣による農作物への被害対策に、補助金が活用できます。補助を希望される場合は、事前に農林課へご相談ください。

対象	地域団体(町内会など)	個人
内容	資材費(追い上げに使用する花火など)、講習会受講費などの一部を助成(2分の1か10分の10以内) (※1団体あたり年間上限額:20万円)	資材費(電気柵、ワイヤーメッシュ柵、ネット柵、トタン柵、捕獲柵など)の一部を助成(2分の1以内) 補助対象:農地を周囲70m以上で囲むこと

駆除班の活動にご理解を 駆除は、地元猟友会の協力の下実施しています

区では、地元猟友会の協力を得て「有害鳥獣駆除班」を編成し、駆除活動を実施しています。駆除班員は目立つようにオレンジ色のベストを着用し、事故防止に細心の注意を払い活動しています。



安佐南区第2有害鳥獣駆除班
吉見賢次さん(77歳)

市街地にシカやイノシシが出没した場合は、迅速に対応しています。

出没場所周辺に被害が拡大しないように駆除活動を行うことを心掛けています。より安全な活動を行うため、皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。